

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 佐賀県立唐津東中学校

1 前年度 評価結果の概要
・学力向上については、11の方策の数値設定を修正し、実態に即した目標になった。3年間あるいは6年間の長期的視野を持ち、指導ビジョンや効果について検証していく。
・心の教育については、社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育を学校行事を通して、あるいは道徳教育等を通して取り組み、ある程度の結果を残せた。
いじめの早期発見・早期対応に努め、教職員間での情報共有や保護者への迅速な連絡・相談に努めてきた。別室登校支援員の配置も決まり、教育相談、特別支援教育的側面からの生徒支援の充実を今後も図っていききたい。
・グローバルな活躍を目指す生徒や旺盛なチャレンジ精神を持った生徒の育成に向けて、海外研修や国際交流に積極的にチャレンジする生徒が多かった。次年度もさらに発展させたい。
・業務改善・教職員の働き方改革の推進や部活動の休養日については、教職員一人ひとりの意識改革も必要であるが、学校全体で取り組む業務改善の目標を設定し、あわせて業務の平準化を今後も進めていく。

2 学校教育目標
○北部地区の県立中高一貫教育校として、これからの時代を見据えた6年間のカリキュラムに基づく教育実践を更に充実させる。
○120年以上の歴史を持つ唐津市の伝統校として、地域の行政機関や各学校、地域の方々と連携した活動の中で、高い志と主体的に生きる力を身に付け、地域や国際社会の発展に貢献できる逞しい人材を育成する。

3 本年度の重点目標
①生徒一人ひとりの進路希望の実現
②わかる授業実践と授業改善への取組
③社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育の充実
④グローバル人材、チャレンジ精神を持った生徒の育成

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

Table with columns: 重点取組 (評価項目, 取組内容, 成果指標), 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価 (実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者. Rows include: 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table with columns: 重点取組 (評価項目, 重点取組内容, 成果指標), 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価 (実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者. Rows include: 別室登校に関する支援体制の確立, 学校生活支援員の支援体制の確立.

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望
・学力向上については、教師間授業参観の効果的な実施方法を検討し、さらなる授業改善や指導力向上を図ることで、学びの質向上や生徒の学力向上につなげていく。また、家庭学習の習慣化を図るための方策について検討する。
・心の教育について、SNSの適切な使い方や情報モラル意識の向上については継続した指導が必要であり、家庭との連携や協力を得ながら取り組む必要がある。
・いじめの早期発見・早期対応に向けて、定期的な生徒理解協議会を実施し、教職員間での情報共有や保護者への迅速な連絡・相談などを行い、管理職の助言のもと組織的な対応ができた。
・グローバル人材育成に向けて、グローバル・デイや海外国籍の中学生の受け入れ、県や市募集の海外研修や県立中4校合同企画の海外研修への参加など、国際的な視野で学ぶ機会を提供することができた。次年度もさらに発展させていきたい。
・業務改善・教職員の働き方改革について、管理職からの積極的な声掛けやコーチングなどにより、計画的な年休・振休取得や部活動休養日の設定など、ワークライフバランスを意識した働き方を促すことができた。今後学校全体で意識を高め、あわせて業務の効率化や平準化を進めていく。
・別室における学校生活支援事業実施校として、別室の運営方法や学校生活支援員の役割や業務等について共通理解を図り、不登校生徒の改善につながった。今後はさらなる環境整備や、高校との連携の在り方などを検討して、円滑な運営を行ってきたい。